

# 四日市版コミュニティスクール報告書（令和4年度総括）

四日市市立中部西小学校

校長 小林 ゆかり

## 1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

中部西小学校の子どもたちの健やかな成長と願いを支えるために、保護者や地域のニーズを把握しながら、互いに協力しあって、対話と参加参画による特色ある学校づくりを推進することをねらいとしています。

## 2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

### (1) 教育活動の実践事例

#### ① 運営協議会会議運営について

本校では運営協議会の会議（学校参画委員会）を年間5回開催しています。そのうちの4回は拡大参画委員会として、民生委員や地域の各団体の代表者などを含めた約30名を加えて開催しており、グループ討議を行うなど、より多くの地域の方の意見を学校運営に反映できるように工夫しています。また、5回のうちの1回を昼間に開催し、子どもたちの授業の様子を見ていただいたうえで意見をいただく機会をもつようにしました。

#### ② まちかど音楽会

本校の校区は古くから商店街として発展してきました。地域の方々の学校に対する愛情も大変深い地域でもあります。そこで学校公開など、地域の方々を学校に招く取組を行っています。平成23年からは、子どもたちが地域に出かけるという発想で、「まちかど音楽会」と名付けた音楽会を、校区の特徴である商店街のアーケードの中で開催し、運営は、地域からボランティアを募り、企画段階からご協力をいただいています。本年度11回目を迎える予定でしたが、令和2年度より、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となっております。

#### ③ 防災教室

今年度も自治会の協力を得て、5年生が防災教室にのぞみました。担架づくり、発電機の使い方、土嚢の作り方を体験したり、非常持ち出し袋の必要性について考えたりしました。日常的に防災に意識を持つことの大切さや、いっどこで災害に遭遇してもできることは何かを考える良い機会となりました。

今年度も、地域住民の意見を教育活動に反映し、外階段を使用した校舎屋上への避難訓練を実施し、津波対策の防災訓練を行いました。また、本年度は加えて学校参画委員会の中で、防災ボランティア代表の意見を中心に学校と地域がともに安全に避難するための話し合いを行いました。そして、実際に学校での避難訓練に防災ボランティアの方に参加して、児童の避難の様子から、指導助言をいただきました。



#### ④ 「中部西小学校の今と昔」

学校参画委員の方に来校していただき、3年生が本校の今と昔の様子について学習しました。前半は明治時代から現代までの本校の歴史を、写真や地図を使ってわかりやく説明していただきました。本校のシンボルである“むくの木”が3回も場所を変えながら大切にされていることがよくわかりました。

後半は本校の郷土資料室で昔生活で使用していた道具を実際に触って、道具の使い方を学ぶことができました。

本年度は、6月26日に創立150周年記念式典・記念行事を行いました。150周年記念実行委員会を中心に「むくの木会」学級委員等の協力体制のもと、全校児童、保護者、地域など約900人が出席し、これまでに1万9000人近い卒業生を輩出してきた中部西小学校の歴史を振り返り、地域と学校（児童や職員）の未来に向けての思いを確認できる機会にすることができました。

#### ⑤ 平和学習

老人会を中心とした地域の方々に、6年生が平和学習の取組として戦争当時のお話を聞かせていただいています。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、残念ながら中止となりましたが、本年度は、感染対策を講じた上で、実施することができました。大切な教育の一つである平和教育について、有意義な時間にしていくために、老人会の代表の方と数回打ち合わせを行い進めました。四日市空襲を経験している方たちからの貴重なお話は、児童にとって深い学びの時間となりました。



#### ⑥ 「ふれあい！グラウンドゴルフ」

老人会の方々に来校していただき、2年生がグラウンドゴルフを体験しました。当日は、早朝より老人会の皆様にご準備等ご協力いただきました。授業では、1時間目に学年そろって基本の打ち方を教えていただき、2時間目と3時間目には、それぞれ学級ごとに、子どもと老人会の方とゲームを楽しみました。各グループに敬老会の方がついていただくことで、どの児童も、老人会の方々とふれあいを楽しむことができました。また、老人会の方々からは、活動後の児童からのお手紙を楽しみにしていることを聞かせていただきました。

#### ⑦ ふれあいパトロール

子どもたちの下校時に、交通安全及び防犯の観点から、地域みんなで見守り声を掛け合うことを通して、子どもたちとより親しい関係を築き、コミュニケーション豊かな地域づくりにつなげることを目的としています。現在、約60名の地域の方にボランティアとして登録していただき、年6回、下校時の見守り活動を行っていただいています。

#### ⑧ 学校支援員

授業、クラブ、委員会での学習支援や、読み聞かせボランティアとして1年間お世話になりました。特に、家庭科などの実習で学習支援員に入っていただくことで、より安全に配慮した指導を進めることができました。

## (2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

学校評価における保護者アンケートの項目「保護者や地域の方々、ボランティアなどの協力を得た教育活動や体験活動の充実に努めている。」に99%の保護者から肯定的な評価をいただきました。学校参画委員会が中心となって声掛けを行っている学校支援員の取組が評価されたものだと思います。また、本校の取組の大きな特徴である「参加参画型教育活動」においては、「防災教室」、「グラウンドゴルフ」、「中部西小学校の昔と今」等に地域の方の協力を得て、子どもたちにとって楽しく深まりのある学習を行うことができました。

このような学校行事をはじめ、日常の教育活動においての地域の方々の見守りと協力があることで、児童は地域を大切に思う気持ちが高まり、職員は地域とともに学校を運営していく意識がより高まることを感じています。

## 3 今後に向けて

今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束せず、例年の行事が中止・縮小されましたが、令和3年度に配備された学習用タブレットを活用した協働的な学習の場面が増えました。そのような新しい生活様式の様子を、学校参画委員会で参観していただくことができました。授業中子どもたちが手慣れた様子で操作し、タブレットを活用して学習していることに感心していました。参観後の話し合いでも、タブレットの活用方法や家庭学習での利用方法について、職員と意見交流をしていました。

一方では、児童の安心安全についての課題をご指摘いただきました。校区である駅前商店街の防災対策について進めている中で、地域の避難場所になっている本校の防災対応については、様々なご意見をいただきました。学校だけで避難訓練を実施しているのでは、実際の場面で訓練どおりにできないことが予想できるため、日頃から地域を意識した避難訓練の実施を行う必要性を感じました。本年度は、地域の防災ボランティアの方々に避難訓練に参加していただき、さまざまなご指摘をいただきました。今後も、地域と連携した防災意識を高めていきたいと思えます。

最後に、創立150周年を迎え、創立150周年記念式典事業実行委員会をはじめ、本校PTAである「むくの木会」など多くの地域関係者や関係機関と連携しながら実施することができました。その取り組みの中での学びや経験、その一つ一つを通して、子どもたちは学校の歴史を振り返り、支えてくださっている方々へ感謝し、そして、自分や学校・地域に夢や目標を持ち、未来を考え、思いを新たにできる機会となりました。学校参画委員会を中心に地域の方々に支えていただくことで、未来へつながる継続した取組にしていきたいと思えます。今後も、地域・保護者と学校が一体となり、しなやかな心を持ち、主体的に行動できる児童を育む中部西小学校の在り方を探っていきます。

